

**A Doug's Rack #1**



**B Doug's Rack #2**



▲こちらのラックには、ファーマン "PL-8"、同 "PQ-3"、CAE "4x4"、ジム・ダンロップ "DCR-1SR"、ローランド "SDE-3000"、BOSS "SE-70"、モスヴァルヴ "MV-942" 等を収納。

**C Doug's Pedal Board**



▲アンプはマーシャル "Vintage-Modern" と 70 年代末の "Imp" X2、そしてダイアモンドの "Spec Op"。

**D Reb's Rack**



▲足下は "DCR-2SR" 用ペダル、ジム・ダンロップ "JL" ジッパー・ペダル、ジム・ダンロップ "Grounder Control Pro" 等。

▲足下は OA 用ペダル・フット・コントローラー "RS-10 MK II" の他、マジック・ペダルズ "Rocket Fuel"、マーロウ "Chorus"、モス "TU-2"、"DCR-1SR" (D-ウ) 用ペダルが置かれていた。

▲レブのラック内は、上からモンスター・パワーアンプ "Pro 2500"、TCエフェクタートリニティック "M2000"、デジタル・ミュージック・コントローラー "GCX"、ジム・ダンロップ "DCR-2SR"、ペダル・エフェクトを収納した引き出し、CAE "OD100" X2 などになっている。

**E Reb's Pedal Board**

**Sound System**



**ナチュラル・サウンドの追究**

サウンド・システムに関しては、ダグ、レブ共に前回来日時とほぼ同様となっているが、若干の変更点も見受けられる。まずダグから見ていくと、依然アンプはマーシャルを基軸としつつも、新たに "Vintage-Modern" を導入し、ダイアモンド製の 100W アンプ "Spec Op" も併用(前回はエングルを同帯)。これらは基本的にミックスして出力されていた。また足下に目を向けると、ダグ自身が開発に関わったマジック・ペダルズ製のシグネチュア・ペダル "Rocket Fuel" をセットしているのが特筆事項。これについては、今月号付録の DVD 内でダグ自身が詳しく解説しているので、是非そちらを参照して戴きたい。

そして一方のレブについては、一見前回と違いがないように見えるものの、その実、ワイヤレス・システムが削除されているのがポイント。バッシヴ・ピックアップの使用共々、彼のホワイトスネイクに於けるサウンド的指向性の変化が窺える一例と言えるだろう。